

第3次地域管理経営計画書(案)

第3次国有林野施業実施計画書(案)

(高梁川下流森林計画区)

(第三次変更計画)

計画期間 { 自 平成18年4月 1日
至 平成23年3月31日 }

(変更年月 平成21年12月)

近畿中国森林管理局

目 次

〔地域管理経営計画〕

1 国有林野の管理経営に関する基本的な事項	1
(4) 主要事業の実施に関する事項	1

〔国有林野施業実施計画〕

2 施業群及び生産群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積又は標準伐採量、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	3
(1) 伐採造林計画簿	3
(6) 伐採総量	4
3 林道の整備に関する事項	5

第3次地域管理経営計画（高梁川下流森林計画区）の変更について

【変更理由】

国有林野管理経営規程第6条第8項に基づき地域管理経営計画の一部を次のように変更する。
なお、本変更計画は、平成22年1月1日から効力を有する。

【変更する内容】

1 国有林野の管理経営に関する基本的な事項

(4) 主要事業の実施に関する事項

本計画期間（平成18年度～平成22年度）において、機能類型区分に応じた施業管理を行うために必要な伐採、更新、保育、林道の事業総量は以下のとおりである。

ア 伐採総量

（単位：m³、ha）

区 分	タイプ別	主 伐	間 伐	計
水 土 保 全 林	国土保全タイプ	-	<u>(64)</u> <u>3,991</u>	<u>3,991</u>
	水源かん養タイプ	13,883	<u>(3,233)</u> <u>270,693</u>	<u>284,576</u>
森林と人との共生林	自然維持タイプ	-	(5) 431	431
	森林空間利用タイプ	-	<u>(2)</u> <u>175</u>	<u>175</u>
資源の循環利用林		12,084	<u>(431)</u> <u>38,406</u>	<u>50,490</u>
計		25,967	<u>(3,735)</u> <u>313,696</u>	< <u>5,500</u> > <u>339,663</u>

注：1 （ ）は間伐面積。

2 < >は搬出支障木、被害木等の伐採箇所があらかじめ特定できない臨時的な伐採量で、外書。

エ 林道開設及び改良総量

(単位：m)

区 分	タ イ プ 別	開 設		改 良	
		路線数	延 長	箇所数	延 長
水 土 保 全 林	国 土 保 全 タ イ プ	—	—	—	—
	水 源 かん 養 タ イ プ	8	7,100	<u>2</u>	<u>910</u>
森 林 と 人 と の 共 生 林	自 然 維 持 タ イ プ	—	—	—	—
	森 林 空 間 利 用 タ イ プ	—	—	—	—
資 源 の 循 環 利 用 林		—	—	—	—
計		8	7,100	<u>2</u>	<u>910</u>

第3次国有林野施業実施計画（高梁川下流森林計画区）の変更について

【変更理由】

国有林野管理経営規程第14条第2項に基づき国有林野施業実施計画の一部を次のように変更する。

なお、本変更計画は、平成22年1月1日から効力を有する。

【変更する内容】

2 施業群及び生産群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積又は標準伐採量、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(1) 伐採造林計画簿

地域管理経営計画の1の(4)のアに定める伐採総量についての具体的な箇所ごとの伐採方法及び伐採量、並びに、同計画の1の(4)のイに定める更新総量についての具体的な箇所ごとの更新方法及び更新量は、別添2．伐採造林計画簿に示すとおりである。

(6) 伐採総量

地域管理経営計画の1の(4)のア伐採総量の内訳は、次のとおりである。

また、本表は伐採造林計画簿で定める箇所ごとの伐採量を取りまとめたものである。

(単位 材積：m³、面積：ha)

区 分		林 地					林地 以外	合 計	
		主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計			
水 土 保 全 林	国土保全タイプ	-	(63.67) 3,991	3,991	2,000	291,173	-	291,173	
	水源かん養タイプ	天然林	-	242					242
		複層林	807	25,931					26,738
		長伐期	-	178,592					178,592
		分散伐区	13,076	55,514					68,590
		その他	-	10,414					10,414
		小 計	13,883	(3233.00) 270,693					284,576
計	13,883	(3,296.67) 274,684	288,567						
森 林 と 人 共 生 の 林	自然維持タイプ	-	(5.04) 431	431	3,500	53,990	-	53,990	
	森林空間利用 タイプ	-	(2.49) 175	175					
	計	-	(7.53) 606	606					
資 源 の 循 環 利 用 林	スギ・ヒノキ 人工林中径材	12,084	38,240	50,324	3,500	53,990	-	53,990	
	広葉樹人工林	-	-	-					
	天然林中大径材	-	-	-					
	アカマツ 中大径材	-	-	-					
	その他	-	166	166					
	計	12,084	(431.10) 38,406	50,490					
合 計	25,967	(3,735.22) 313,696	339,663	5,500	345,163	-	345,163		
年 平 均	5,194	88,379	93,573	1,100	94,673	-	94,673		

(注) 1 () は間伐面積である。年平均は、変更伐採量を残期間で除したものを加えて算出。
2 臨時伐採量については、表中以外の施業群、生産群等の数量も含む。

3 林道の整備に関する事項

地域管理経営計画の1の(4)のエ林道開設及び改良総量の路線別の内訳は次のとおりである。

(単位：m)

基幹 その他	開設 改良	路線名	箇所 (林班)	延長	機能類型 タイプ別	備考
基幹	開設	古谷林道29林班線	古谷 (528・529)	700	水土保全林 (水源かん養タイプ)	
その他		見森山林道	用郷山 (558・559)	1,300	水土保全林 (水源かん養タイプ)	
		明石林道	明石 (567)	700	水土保全林 (水源かん養タイプ)	
		用郷林道	用郷山 (541)	600	水土保全林 (水源かん養タイプ)	
		トビス林道	小吹山 (576)	1,000	水土保全林 (水源かん養タイプ)	
		竹谷山三ヶ市支線	竹谷山 (571)	1,000	水土保全林 (水源かん養タイプ)	
		槇ヶ迫林道	槇ヶ迫 (595)	1,000	水土保全林 (水源かん養タイプ)	
		宮ノ谷林道 トイ谷分線	三室 (702・703)	800	水土保全林 (水源かん養タイプ)	
計	8路線		7,100			
基幹	改良	古谷(冥加谷)林道	古谷 (530)	900	水土保全林 (水源かん養タイプ)	
その他		込山林道横内支線	込山	10	水土保全林 (水源かん養タイプ)	
計	2路線(2箇所)		910			

(注) 基幹は森林基幹道を指す